

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	すだちプラス			公表日	2026年 3月 23日		
	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2		人数が多い時は手狭に感じることがある 職員の人数が充足している時は入れ替え 制にしている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	1	段差をなくしたり、階段には手すりが設置されている	入り口、パークへ行く際の階段移動は利用者によって配慮が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2			
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2		事業所間で全体ミーティングを実施している	PDまでは行っているが全体としてチェック以降はできていない
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			アプリを活用し、アンケートを実施し、集計結果を共有し、業務改善につなげている 保護者からの意向に対しての対応は早いと思う	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	1		第三者による外部評価を検討していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			オンライン研修など外部研修へ積極的に参加し、内部研修を通じて周知している	
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			保護者からのアセスメントをもとに、子どもと保護者のニーズに寄り添い個別支援計画を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			AIを導入している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		職員間で情報交換しながら計画している 個々の得意分野などを取り入れ、チームで行うことができている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			月毎にプログラム内容を見直し、計画している 繰り返し挑戦できるよう、継続して取り組んでいる プログラムも実施している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			子どもや保護者のニーズに寄り添い、個別支援計画を作成し、全員でサポートを行っている	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			活動ごとに担当者を決め、役割分担を行っている内容について職員間で打ち合わせをし、情報共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1		グループLINEを活用し、情報の共有を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			ケア記録・生活記録を徹底し、支援の見直しや改善につなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			半年ごとにモニタリングを実施し、支援内容について見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	2		土曜日や長期休暇中など、4つの活動を組み合わせ、実施している	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			児童発達支援管理責任者が出席している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			学校への送迎時に直接確認を行ったり、電話での連絡などを通して適切に行っている それぞれの学校の行事予定や下校時刻のプリントを必ず確認し、ミスが無いように行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		積極的に情報共有を行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	1		まだ卒業生がいないが、今後適切な情報共有を実施する
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		オンライン研修などに積極的に参加している	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6			課外活動などを通じて交流している	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	1		今後参加する予定である
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			毎日の連絡帳で共有し、共通理解に努めている 送迎の際にも日々の状況を伝える事を行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		言語聴覚士、作業療法士の専門家からのアドバイスや環境調整などについての助言を行っている	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		ご利用前の申し込み時に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			管理者や児発管が対応にあたり、必要な助言やサポートを行い適切な対応をしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	2			親子活動を計画している
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		苦情受付担当が速やかに対応し、管理責任者へ報告できる体制を整えている	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			SNSやLINEを活用し、活動の予定や内容について発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			鍵付きの書庫へ保管している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			子どもへは絵カードを活用したり、保護者とは送迎時やLINE等でこまめに配慮を行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1	3	行事への招待は行っていないがSNS等を通じて行事の様子などは発信している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			マニュアルはいつでも閲覧できるようにし、事業内研修を実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			安全計画に沿って実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6				
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		必要に応じて対応できるよう、医療機関と連携している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			事業所内のLINEグループで共有を行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			外部研修を受けたり、事業内研修を実施し、対応している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			保護者会等で説明をし、書面にて同意を得ている		